

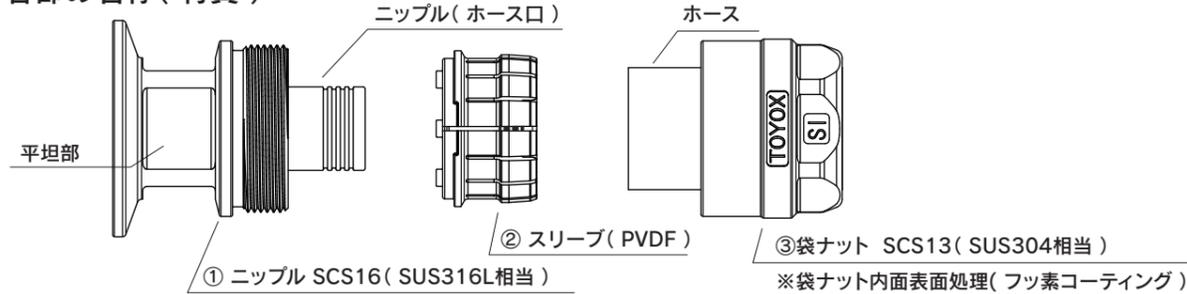
TC3-FS型 トヨコネクタ® 取扱説明書 (トヨックスシリコンホース専用継手)

ご使用前に必ずお読みください。

警告 …… 死亡または重傷を負う可能性がある状態。

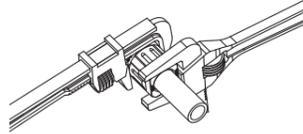
トヨコネクタを、「正しくお使いいただくため」の説明です。
ホース単品同様、ご使用にあたっては制限がありますので下記の注意事項を必ずお守りください。
万一、お守りいただけない場合は、負傷・物的損害の発生する恐れがあります。

各部の名称(材質)



施工上の注意

- ホースカットの際は、ホース端面が垂直になるようにカットしてください。
- 継手付近にホースの曲げ応力がかからない様に、ホース長さを十分確保してください。
- ホース口の根元までホースが挿入されている事をご確認ください。
- 警告** ホースを挿入する際に、ホース口表面に油等を塗らないでください。
ホース抜け発生の原因になります。
- スリーブの向きを確認後、袋ナットを締め上げてください。
- 警告** 袋ナットは、すき間がなくなるまで締め上げてください。
すき間がある状態でご使用されますと流体漏れやホース抜けによるトラブルが発生します。
また、締め付け時に工具の滑りによるケガをしないようにご注意ください。
- 袋ナットの締め上げには “モンキー(モーター)レンチ” をご使用ください。
“パイプレンチ” は使用しないでください。袋ナットを傷つけます。
締め付け時に工具の滑りによるケガをしないようにご注意ください。
- 締め上げる際には、右図のように必ずニップルの平坦部を他の “モンキー(モーター)レンチ” で固定してください。
- 警告** 袋ナットの締め上げの際に、まれに樹脂の削り粉(又は糸状の物)が発生する場合があります。
十分に取り除いてからご使用ください。
- ホース口及びスリーブに刃物等で傷をつけないでください。
- 施工後に、継手部からのホース抜けや流体漏れが生じていない事を確認してからご使用ください。
- 施工時には、継手の鋭利な部分でケガをしないようにご注意ください。



ホース取付手順

※ 取り付け方法は各ホース共通です。

- 袋ナットの取りはずし
 - 袋ナット及びスリーブをニップルより外してください。
- ホース長さ位置決めとホースの切断
 - ニップルツバ端面にホース端面を合わせてホース長さを調整してください。
ホースに引っぱり要素が加わらないようにご注意ください。

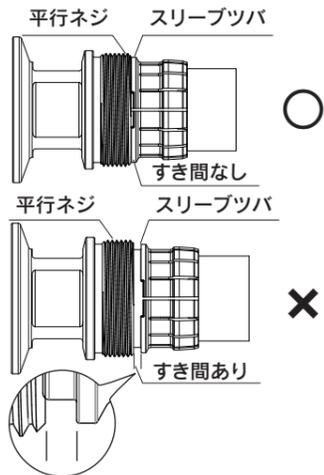
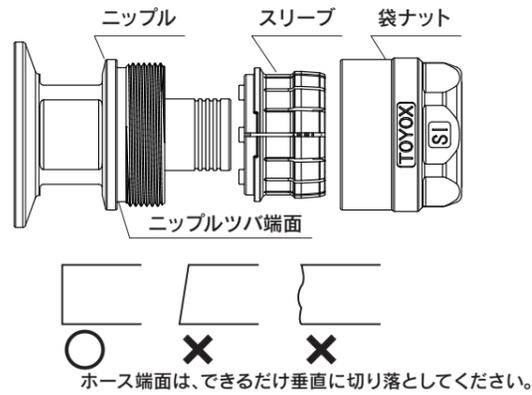
- 注意** ・よく切れるカッターの刃でホースを切断してください。
・ホース切断面が斜めの場合は、ホースが抜ける恐れがありますのでホース端面を垂直に切断してください。
・ホースの端面に糸屑が出ている場合は、ニッパー等で除去してください。
・ホース屑、糸屑がホース内に入らないように注意してください。
・継手付近にホースの曲げ応力等が掛らないように、ホース長さを十分確保してください。

3. 継手の組み込み

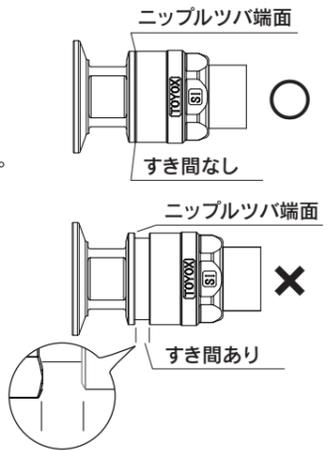
- ① ホースに袋ナットを通してください。
- ② スリーブをニップルのホース口に通して、取り付けてください。
注意 スリーブがホース口の突き当たりまで入ったかを確認してください。
その際、スリーブ底面のピンとホース口の突き当たりにあるピン穴の位置が合っていることを確認してください。
(スリーブのツバとニップル平行ネジ部の間に隙間がある場合、スリーブの挿入不足です。ピンとピン穴の位置を合わせてスリーブを取り付けてください。)



- ③ スリーブがズレないように手で押さえながら、ホースをニップルツバ端面へ向けて深く挿入してください。
(ホース挿入後、スリーブを前後に揺さぶり、ガタつき等がないかを確認してください。
ガタつき等がある場合は挿入不足です。スリーブのガタつきがなくなるまでホースを挿入してください。)
- ④ 袋ナットを手の力で止まる程度に締め上げてください。



- ⑤ ニップルの平坦部を他の “モンキー(モーター)レンチ” で固定し、袋ナットをすき間がなくなるまで締め上げてください。
(パイプレンチは、使用しないでください。部品を傷つけます。)
注意 締め上げ不足の場合、流体漏れ、ホース抜けの危険性があります。
注意 締め上げの際に、まれに樹脂や金属の削り粉(又は糸状の物)が発生する場合があります。
十分に取り除いてからご使用ください。
 - ⑥ 配管に市販サタリークランプを使用して固定してください。
ホースにねじれが無いように配管に取り付けてください。
4. 配管内の洗浄作業 …… 必ず実施してください。
- ① 各配管を接続した後で、配管内を洗浄してください。
 - ② 洗浄後に、継手の袋ナットが緩んでいないか確認してください。
袋ナットが緩んでいましたら、袋ナットを増し締めしてください。



使用時の注意

- トヨコネクタは、トヨックスホース専用の継手です。
他社ホース及び適合ホース以外に接続された場合は、性能を十分に発揮・維持できない場合がありますので何ら保証はいたしません。
※ 適合ホースは継手によって異なります。カタログまたはホームページでご確認ください。
- 継手の使用最高温度は140℃です。
適合ホースの取扱説明書『ホース使用時の注意』(使用温度範囲)を必ずお確かめの上、使用最高温度140℃及び適合ホースの使用最高温度を超えない様にご使用ください。また、適合ホースの使用圧力範囲内でご使用ください。
- 負圧使用可能ホースを負圧でご使用の場合、用途・条件(温度・動き等)によってはご使用になれない場合があります。
- 継手付近で、ホースを極端に曲げた状態で使用しないでください。
ホースの最小曲げ半径より大きい曲げ半径でご使用ください。
- 警告** ホース内に流体を通しては、継手の組立・分解作業はしないでください。
流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
- ご使用期間中は、継手部からのホース抜けや流体漏れが発生していないか始業点検・定期点検を実施してください。
- 警告** 下記の用途での配管には使用しないでください。
継手破損、ホース破裂、ホース抜けが発生する恐れがあります。
 - ・電磁弁配管等の配管内に衝撃圧がかかる配管
 - ・継手部に振動及び衝撃が加わる箇所
 - ・使用最高温度が140℃を超える用途
 - ・常にホースに引っ張りの応力がかかる用途
 - ・ホースに帯電するような用途(感電する危険があります)
- 使用前には、必ずホース内の滅菌・殺菌作業をしてください。(商品出荷時は殺菌処理はしていません。)
- 飲料水、食品でご使用の場合は、ホース・継手をタンク内の飲料水・食品流体に漬けないようにしてください。
継手内に流体が残り、雑菌が繁殖(付着)することがあります。
- 洗浄時には、硬いブラシ等で表面をこすらないでください。部品表面に傷が付き雑菌が溜まる恐れがあります。
- 直射日光の当たらない、温度及び湿度の低いところで保管してください。
また、継手内に異物、ホコリが入らないよう保管してください。
- 廃棄の場合は、それぞれの地域の分別処理に従ってください。

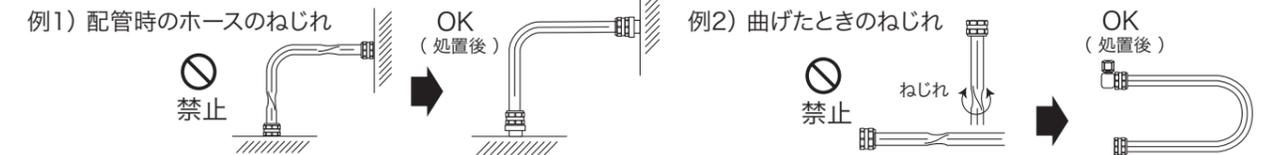
継手の再使用とホース交換に関する注意

- 注意** 日々の分解洗浄用継手ではありません。
警告 ホース交換・継手の分解作業は、継手が常温まで冷えた状態で作業してください。
火傷や、継手を傷める恐れがあります。

- トヨコネクタの再使用時には、各部品の損傷がないことを確認後、使用してください。必ずスリーブを交換してください。
- ホース交換時には、必ず継手表面に付着した流体や汚れを取り除いてください。流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
- トヨコネクタの再使用時には、必ず新しいホースを使用してください。
- ホース交換時に、ニップル表面をカッター等で傷付けしないでください。流体漏れ発生の恐れがあります。
- 袋ナット、ねじ等は柔らかいブラシでゴミ・ホコリ等の異物を取り除いてください。
- スリーブが亀裂、破損、変形又は変色していた場合は直ちに新しい部品と交換してください。性能を十分に発揮できない場合があります。
- TC3-FS型は使用条件等により異なりますが5回程度の取り外しを目安に新品の継手に交換してください。
- 継手をハンマーで叩かないでください。

警告

- トヨコネクタの流路(内面)の材質はSCS16(SUS316L相当)を使用しています。流体の種類によっては腐食や流体漏れが生じる場合があります。
ご使用前にご確認(カタログ、ホームページ記載の耐薬品データ参照)またはフリーダイヤルにてお問い合わせください。
継手外面への流体物の接触に関しても同様にご確認ください。
- ホースをねじった状態で配管・使用しないでください。ねじれがかかった場合、ホースの内部構造が変形し、「破裂」に至り、危険です。
次の例を参考にして、適切な処置を講じてください。



お問い合わせ・ご相談は
フリーダイヤル
0120-52-3132
お客様相談室まで

ホース配管安心セット
TOYOX 株式会社トヨックス
本社 / 黒部 サービスセンター / 東京・名古屋・大阪

○ 改良のため予告なく仕様変更することがあります。

ISO 14001 認証取得